

議 会 だ よ り

No.185(R6.2.7発行)

令和5年 第4回浦臼町議会定例会 一般質問

第4回定例会は12月8日に開催し、3議員から一般質問がありましたので、内容を要約し報告します。



すなば あきら 砂場 明	浦臼町の商工業の現状	7ページ
しずかわひろみ 静川広巳	小中学校のエアコン設置 持続可能な農業の地図を	8ページ
しばたのりお 柴田典男	義務教育学校への取り組みについて 明年の次期改選期を控えて	9ページ



砂場議員

浦臼町の商工業の現状

Q 質 問

商工業者は、売り上げ減少など多岐にわたる問題を抱えている。働く方から後継者問題に至るまで、多くの事業者が人材不足を挙げている。特に飲食店関係は問題が如実に現れている。商工業の衰退は町の衰退と同意義とも考えられる。

人口減少を避けて通ることとはできないが、持続的な売り上げ増や、働き手のあつせん、事業の継続が重要と考える。

町長に次の2点を伺う。
①現在の商工業の問題をどう考えているか。

②何か対策や支援策等を考えることはできるか。

A 町長答弁

①飲食店においても、近年

の物価や燃料費の高騰により収支が悪化している。高齢化と後継者不在により、生活に必要なサービス低下を招いていることは認識している。

商工業者の事業継承について役場内関係部署で協議したが、個人事業主の公的資金投入の是非等で、具体的な方向性を見出せていない。

②新規開業や経営継続、事業継承に向けた浦臼町中小企業振興事業や浦臼町中小企業振興資金利子補給補助事業の助成金等が町外からの進出を優遇するなど、現状の課題に対応したものになっていない。柔軟な対応が可能となるよう制度改正を検討していく。

過疎地においては、飲食業者や小売業者の撤退が社会問題化しており、厳しい経営環境を容易に改善はできないが、商工会との連携強化を図り、各種活動の一層の活性化を図っていく。

Q再質問

地域おこし協力隊を多岐にわたり活用することはできないか。他の地域を見ても多くはないが、移住し開業している方もいる。

A町長再々答弁
今後協力隊をあつせんする場合に、募集や面接段階から、飲食業に興味のある方を採用し、飲食店で働いてもらい、その代わりにノウハウを教え、開業まで面倒を見る。店側も働き手が増えるメリットがあるのではないかと思うが。

A町長再答弁

協力隊は、十分考える可能性はある。

どのようなハードルがあるのかをまず明らかにしてから、その次のステップとして考える。

Q再々質問

次々に新たな店舗を増やすことを商工業に関わる者として考えている。

飲食業に絞って今回は質問したが、飲食業をモデルケースとして、商店や工業や農業といった分野に

も協力隊を派遣することはできないか。

今後を見据えて、来年度には10人くらい協力隊がこの町に派遣されるような状況が望ましいと考えるが。

A町長再々答弁

農業や林業は、支援員という形での協力隊が派遣されるのが通常である。

商工業は、特定の商工業の店舗の特定の業務に当たるといことが可能か、どこまですみ分けができるのか検討する。

協力隊は、10人は約束できないが、今後増やしていく体制をとる。



静川議員

小中学校の

エアコン設置

Q質問

今年の夏の猛暑を受け、

9月定例会で質問のあった小中学校のエアコン設置については、来年度の設置に向け協議するという町長・教育長の答弁があった。次年度予算編成も近づいているが、設置に向けての進捗状況は。

A町長答弁

空調設備について来年度中の設置に向け検討したいと答弁したが、その後、国の補正予算などもあり、10月上旬に学校施設環境改善交付金事業に交付申請を行い、本年度中の設置完了に向け事業を進めたいと考えている。

なお、事業に係る予算については、本12月定例会に補正予算※を上げしている。小中学校ともに普通教室と職員室及び校長室に設置する予定。

※金額等は11ページ上段の「令和5年度予算の補正されたもの」に掲載。

A教育委員会事務局長答弁

現在の設計状況としては、

普通教室及び職員室には天井から下り下げ式の大きいエアコンを設置する予定。校長室については、家庭用のエアコンを設置するよう設計になっている。

あくまでも、大本の電源工事を行わないという範囲で考えているので、現状のような設計になっている。

また、工事期間は令和6年3月までに事業を完了する予定で現在進めている。

工事の内容については、冬休み期間中というのが一番いいが、そこには間に合わないと思うので、土日を活用しながら工事を進めていきたいと考えている。



持続可能な

農業の地図を

Q質問

人・農地プランを基本とし、国が進める地域計画の

策定を令和7年3月までに作らなければならない。また、農業関係者の受けとめ方において、地域計画作成の過程における農地の出し手と受け手への説明をどのようにしていくのか、今後の対応並びに現在の進捗状況は。

A町長答弁

令和5年4月1日から施行された農業経営基盤強化促進法により、令和6年度末までに地域農業経営基盤強化促進計画、いわゆる地域計画の策定が義務付けられた。

地域計画では、地域における農業の将来のあり方や農用地の具体的な利用の姿を示すこととされ、これまでの「人・農地プラン」を法定化するものである。

また、農業を担う者ことに利用する農用地等を定めた地図「目標地図」も作成の対象となっている。

町の地域計画策定状況については、策定する協議会を今年度末から新年度早々

に設立予定とし、構成機関は農業委員会、農協、土地改良区、農業公社などを予定している。

現在は、農業委員会に依頼し、農用地の所有者や耕作者に経営意向調査を行い、利用の意向を把握し、現況地図等の農地情報を準備している状況。

この意向調査については、令和6年1月中の発送を予定している。

実際の出し手と受け手への説明は、地域計画作成の聞き取り時に丁寧の説明していきたい。

A 産業課長答弁

現時点で、町の地域計画については若干の遅れはあるが、令和7年3月までには完成を目指していきたい。ある程度、作成工程表に基づき進めていきたいが、補助事業の絡みもあるので、浦臼町全体を一地区という考えで、農家の繁忙期を避けて地域の聞き取りを十分丁寧に行っていきたいと考えている。



柴田議員

**義務教育学校への
取り組みについて**

Q 質問

学校教育法の改正により、2016年に学校教育制度として義務教育学校が新設されたが、従来の6年・3年制の枠組みに縛られない柔軟な区切りを設けて指導体制を整えることの有効性が指摘されている。義務教育学校について、教育長に次の4点を伺う。

- ① 近隣市町村の取り組み状況は。
- ② メリット、デメリットをどう考えるか。
- ③ 本町としての必要性をどう考えるか。
- ④ 校舎が離れていても取り組めるのか。

A 教育長答弁

小中一貫教育は、小中学

校が学習指導や生徒指導について互いに協力し、双方の教職員が義務教育9年間の全体像を把握し、系統性・連続性に配慮した教育に取り組みものとされている。その中には、義務教育学校や小中一貫型小中学校などがあり、その有効性に多くの例が示されている。

① 中空知5市3町については、既に開校が1市、開校予定が1市、検討中が2町、導入の予定なしが4市町となっており、北空知においても3町が設置予定、南空知でも1町が設置予定。

② メリットは、内容の系統性や連続性に配慮した教育プログラムの作成・指導が可能となり、理解度の向上が期待できること、連続して生徒指導が行えるので、情報共有が行いやすく、より効果的であること、6年・3年制とは異なる発達段階に応じた学年区分ができることや、中1ギャップの解消が期待できること、さら

には特別支援教育において

も情報の引き継ぎやすさ、保護者との継続的な関係を築きやすくする効果がある。デメリットは、小学校卒業の達成感がなくなることや、小学校高学年の自主性やリーダーシップ育成の機会が減ることなどがある。

③ 今後、義務教育学校の導入を検討していく必要性は大いにあると考えている。まずは検討委員会などの設置について検討したい。

④ 校舎の分離型でもカリキュラム等を整備することによつて可能だが、教科担任制といった部分で建物は一体的な方がいい。

小規模な市町村は、将来の複式学級等々も検討した上で、義務教育学校という選択肢を選ぶこともあると考える。

**明年の次期
改選を控えて**

Q 質問

1期目を振り返り、町長としての反省点と、次期へ

の意向を伺いたい。

A 町長答弁

私は、令和2年4月、町民の皆様からのご支援をいただき、町政を担わせていただいた。

常にコロナを意識した行政運営が求められた3年間となった。ご協力いただいた町民の皆様から感謝を申し上げたい。

私たちのふるさと浦臼町を持続させるためには、町民の安全を守り、経済を支え、生活を豊かにしていかなければならないとし、6項目の基本政策を掲げ推進してきた。

防災面では、専門職の配置、ソフト面の充実強化を図る体制が整ったところ、農業面では、稲作を中心とした持続的発展が町の活力につながるという考えから、スマート農業の実証試験、高収益作物の作付け奨励、新規就農者の受け入れ対策に取り組んでいるところであり、商工観光分野については、臨時交付金を

活用して支援を行ってきた。地域公共交通の再編を行い、駅舎周辺の活性化を目指し、多世代交流施設「えみる」の建設に着手、また子育て・教育の面では、既存事業が主となるが、充実した支援策を継続してきた。

これからの浦臼町のためによりやく種をまき、スタートを切ったばかりであり、迅速性、即効性の面では十分ではなかった点、またこれと関連するが、少子高齢化・人口減少に対し、結果として効果的な対策をとれず大きな課題として残った。様々な課題が山積する中ではあるが、まいた種が芽を出し、しっかりと根づくことを見届け、また懸案の鶴沼公園の再開発やゼロカーボン、自治体DXといった時代の要請にも道筋をつけたという強い思いを持っている。

自身の思いを実現するため2期目の町政に挑戦する決意をした。

審議された事件と結果

第4回浦臼町議会臨時会〔11月27日開催〕

条例等の審議と結果

- ◆浦臼町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例について ー可決ー
- ◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について ー可決ー
- ◆浦臼町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について ー可決ー
- ◆浦臼町特定公共賃貸住宅及び地域優良賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について ー可決ー
- ◆浦臼町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について ー可決ー

第4回浦臼町議会定例会〔12月8日開催〕

条例等の審議と結果

- ◆浦臼町過疎地域持続的発展市町村計画の一部変更について ー可決ー
- ◆浦臼町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について ー可決ー
- ◆浦臼町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について ー可決ー
- ◆空知中部広域連合規約の一部を変更する規約について ー可決ー
- ◆浦臼町選挙管理委員及び同補充員の選挙
任期満了により選挙が行われ、4名の選挙管理委員、4名の選挙管理委員補充員が当選しました。
選挙管理委員
・尾崎 克人 ・佐藤 忠一 ・森 博孝 ・酒本 博昭
選挙管理委員補充員
・初山 勇三 ・加藤 正一 ・柴田 勉 ・森川 勲

財産の取得について

- ◆浦臼町多世代交流施設備品 一式
 - ・契約の目的 浦臼町多世代交流施設の運用・維持管理にかかる備品の購入
 - ・契約方法 指名競争入札
 - ・契約金額 1,312万5,200円（うち消費税額119万3,200円）
 - ・契約の相手方 有限会社尾花商店
代表取締役 尾花 賢二

第5回浦臼町議会臨時会〔12月21日開催〕

※補正予算の審議のみ行い、可決されました。

◎令和5年度予算の補正されたもの

会計名 (補正番号)		補正後の予算額 (補正額)	補正された主なもの
一般会計 (第5号)		43億710万2000円 (2070万5000円)	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 1925万円
一般会計 (第6号)		43億6052万5000円 (5342万3000円)	地域再生協議会活動事業補助金 1942万円 移動系デジタル防災行政無線更新業務委託料 △1495万6000円 浦臼小学校エアコン新設工事 1840万3000円 浦臼中学校エアコン新設工事 1348万6000円
一般会計 (第7号)		43億6980万円 (927万5000円)	福祉施設特別給付金 100万円 物価高騰対策子育て支援金 190万円 町内消費活性化事業補助金 635万円
特別会計	国民健康保険 (第1号)	1億3861万6000円 (11万6000円)	給料・職員手当等 11万6000円
	後期高齢者医療 (第1号)	4635万4000円 (5万4000円)	職員手当等 5万4000円
下水道事業会計 (第2号)	収益的収入 1億2549万3000円 (3万6000円)	下水道使用料	3万6000円
	収益的支出 8392万6000円 (3万6000円)	給料・手当等 下水道料金システム改修業務委託料 マンホールポンプ所ポンプメカシール交換	18万6000円 57万6000円 △72万6000円

総務産業常任委員会報告

〈調査日11月10日〉

○農作物の作況状況について

水稲の収量、品質については平年を下回り、特に低タンパク米は0.7%、色選預米は63%となった。

小麦、大豆は例年並みの収量となったが、品質については高温干ばつの影響を受けた。ソバは平年収量の40%程度となり、2等品が大半を占める。花き・その他野菜は、多くの品目で猛暑による品質低下や収量減となったが単価では高値で推移している。にんにくは作付けが伸びているが、干ばつの影響でさび病が発生し、販売環境は厳しい状況で推移している。醸造用ぶどうは、収穫量が過去10年で最高となる見込みとなった。

〈考察〉

・特産品、奨励品目を選定し、町として推進していくべきと考える。
・平均気温の上昇により高

温に適した作物の選定が必要と思われる。

・農家戸数及び年齢構成などを加味し、産業政策を進めるべきと考える。

・町としても独自に作況状況を把握するべきと考える。そのデータを活用しJA、普及センターと連携を図り農業施策を進めることを望む。

○町内実施事業等の進捗状況

〈考察〉

・ひばり団地は5か年計画全体が完成することになり、新しい住宅団地として育んでいくことを期待する。

・鶴沼公園散策路として危険と思われる箇所が見受けられるので、今後、調査を基に検討することを求める。

・多世代交流施設建設工事は、来年3月に竣工予定であるが一部遅れが出ているように思われる。これから降雪期を迎えるが、順調な作業工程となるように望む。

令和4年度各会計決算を認定しました

10月30日・31日に決算審査特別委員会を開き、令和4年度浦臼町各会計歳入歳出決算等について認定すべきものと決定しました。

(単位：円)

会計名	区分	決算額		差引額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額
		歳入	歳出			
一般会計		4,061,162,887	3,770,507,970	290,654,917	196,994,000	93,660,917
特別会計	国民健康保険	142,710,522	129,433,959	13,276,563	0	13,276,563
	後期高齢者医療	43,414,781	42,156,309	1,258,472	0	1,258,472
下水道事業会計	収益的収入及び支出	122,658,503	73,280,332	49,378,171		
	資本的収入及び支出	5,462,500	63,473,436	△ 58,010,936		

※下水道事業会計～資本的収入額が資本的支出額に不足する額58,010,936円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額333,299円、当年度分損益勘定留保資金13,879,706円、減債積立金43,797,931円で補てんした。

委員会報告

本町の令和4年度予算執行は、前年度から継続の公営住宅ひばり団地建替事業、橋梁長寿命化事業、支浦臼内川護岸改修事業など大型公共事業を計画どおり実施した。また、住民税非課税世帯等給付金事業、子育て世帯等臨時特別支援事業、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業など、国の補正予算を活用し町内の感染症対策や地域経済対策に取り組んだ。さらに、電気・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対し給付金給付事業も行った。

健全化判断比率4指標はすべての指標で堅調な財政状況を示しているが、実質公債費比率は単年度数値で前年度対比6.2ポイント悪化した。これは約定償還額が上昇したこと、公債費に充てるための交付税算入額が減少したことが悪化の要因である。新型コロナウイルス感染症対策に要した国の大規模な財政出動や今後の国内外の経済状況が、依存財源である地方交付税等の交付額に影響を与えることが予想される。町が計画している事業を実施するには、健全な財政運営を進めていく必要がある。

委員会からの意見として、国の補正予算を活用し感染症対策・経済対策として各種支援を実施したこと、物価高騰対策として住民・農業者・工商业者への支援を実施したことは大いに評価する。一方で、町長交際費は支出内容により事業費として予算化すべきものがあつたと考える。また、ふるさと納税寄付額が減少しているため、返礼品の見直し等、寄付額を増やす取り組みが必要と考える。

以上、各会計における検討及び意見を付し、報告書を提出し、本会議で認定することに決定した。

議会の活動状況がインターネットでもわかります



議決結果、一般質問通告、会議録等を公開しています。
左のQRコードから浦臼町議会のページを開けます。
(<https://www.town.urausu.hokkaido.jp/gyousei/gikai/>)

決算審査特別委員会では多くの質問がありましたのでいくつかご紹介します。

タクシーチケット

ユツユツ

Q タクシーチケットの利用状況について、月によって大きく異なる。夏の利用が少ないのはタクシーが使いづらいことが一因では。利用の推進や、改善の取り組みは。

A タクシーの利用は、12月は降雪により、3月はチケットの期限が3月末のため、駆け込み需要により利用件数が多くなっている。タクシーについては町内を1台で運行しているため、利用が重複すると予約がとれないといった問題もあるが、予算的に2台での運行は難しい。タクシー利用の周知は今後も進めていく。
(総務課長)

町有林の作業路刈払業務について

ユツユツ

Q 刈払している林道の場所とその理由は。また、刈払は毎年場所を変えているのか、それとも同じ場所を重点的に刈っているのか。

A 主に分収林契約をしているところの作業道について草刈りを実施している。また、毎年同じ場所を草刈りしている。
(産業課長)

教育総務費について

ユツユツ

Q 教育総務費の中で、繰越事業費に220万とあるが、これは何に使われたのか。

A コロナの関連施設備品で、小学校では間仕切り用ついたて、二酸化炭素濃度測定機、掃除機など。中学校では掃除機、布団乾燥機、リモート事業用のビデオカメラやノートパソコン等を購入している。
(教育委員会事務局長)

石造り倉庫管理

ユツユツ

Q 石造り倉庫管理料として17万2千円を支出しているが、管理料の内訳は。

A 管理料の内訳は電気料金、移動トイレのし尿くみ取り料、除雪の人件費、セキュリティの管理費となっている。
(産業課長)

ジビエ減量化施設の管理業務について

ユツユツ

Q 委託している減量化施設の管理業務に菌床管理という項目があるが、どのようなものか。また、汚泥をフレコンに詰めて処理しているようだが、それも業者に委託しているのか。

A 菌床管理については工スペース菌の購入や菌をまく作業についてお願いしている。汚泥処理については、汚泥をフレコンに詰める作業は職員が行い、運搬と処理を業者が行っている。
(産業課長)

ふるさと応援寄付金について

ユツユツ

Q 当初の歳入予算額1億円に対して、補正予算額では約5,350万円減っているが、この要因は。

A 返礼品の返礼割合・経費についての厳しい規制ができたこと、全体的に農村地帯の市町村への寄付金が少なくなっていることが挙げられる。
(総務課長)

Q ふるさと納税の情報を様々なサイトにアップしたり、返礼品で例えば無洗米を出したりといった工夫をしてみても。また、ふるさと納税担当の職員を増やしては。

A 空知ではお米の出ているところが寄付金も多い。お米については農協と協力してやっていきたい。職員については、ふるさと納税の業務を外注に出している市町村もあるので、内部でできるのか、外注でメリットが生まれるかも含め

検討していきたい。

(町長)

除雪対策費について

ユツユツ

Q 除雪対策費の補正予算として約324万円が組まれていたが、増額の理由は。

A 通常、降雪量は7メートルで積算しているが、それよりも降雪が多く、除雪回数が増えたこと、また、燃料費の高騰により増額となった。
(建設課技術長)

町民まちづくり活動応援補助金について

ユツユツ

Q 町民まちづくり活動応援補助金について、基

本は1事業につき年1回、3年間の補助を受けられるが、例えば年に複数回活動を行う場合も1事業としてカウントするのか。

A 当初申請された事業計画の中で複数回計画されていれば、1事業としてカウントしている。
(副町長)

議会の流れ

◎議会運営委員会

12月1日 ・令和5年第4回定例会の運営について

◎全員協議会

11月27日 ・補正予算について
 ・トレシップタウンシナイ川河床整備工事について
 ・地域公共交通の見直し（案）について
 ・移動系デジタル防災行政無線の更新について

12月8日 ・令和5年第4回定例会について
 ・浦臼町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
 ・財産の取得について

12月21日 ・重点支援地方交付金について

◎総務産業常任委員会

11月10日 ・農作物の作況状況について
 ・町内実施事業等の進捗状況

◎議会広報特別委員会

1月17日 ・議会だより第185号の編集

寄付行為について
 議会議員は、選挙区内で金銭や品物を贈ることは特定の場合を除いて法律で禁止されています。
 また、有権者が求めてもいません。ご理解とご協力をお願いいたします。



議員として10年以上在籍
 中川 清美 議員



議長として4年以上在籍
 小松 正年 議長

空知町村議会 議長会表彰

令和5年10月25日、空知町村議会議長会から長年にわたり地方自治振興や町政発展に貢献された方に表彰状が授与され、第4回定例会開会前に伝達されました。



奈井江町・浦臼町 議会議員交流会

令和5年11月16日、浦臼町役場において議会議員交流会が開催され、「空知農業の目指すべき方向性について」と題して、空知総合振興局長である鈴木賢一氏による講演が行われました。講演後は両町による意見交換や懇親会を行い、交流を深めました。

編集後記

昨年の皆様の印象は「暑い夏」ではないでしょうか。季節は進み冬となりました。今季はエルニーニョ現象による暖冬と言われていますが、年末には留萌や美唄等で大雪が降り、ここ浦臼も雪に悩まされています。まだまだ冬も半ばであり、過ごしやすい冬であってほしいものですが、4月には暖かくなっているでしょう。4月と言えば、私も議員となり、もうすぐ1年が経とうとしています。めまぐるしく変わる環境に戸惑いはありましたが、この間たくさんの方々からお話を伺い勉強の日々でした。皆様のご協力で前に進んでいきます、この町の為にしっかりと仕事をしていきます。

(砂場)

委員長	土屋 慎一
副委員長	高田 英利
委員	静川 広巳
委員	砂場 明